

## 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

### <研究課題名>

川崎病冠動脈障害例における心外膜下脂肪組織の病的意義の解明

### <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 小児科 (研究責任者)能登 信孝

### <研究期間>

承認日 ~ 西暦 2020年 8月 31日

### <研究の目的と意義>

心臓に密着する内臓脂肪である心外膜下脂肪組織(EAT: epicardial adipose tissue)は炎症や化学伝達物質の放出を通して血管外膜測から冠動脈や心筋に影響を及ぼし、その病態形成に影響を及ぼしている可能性が最近成人例で指摘されています。冠動脈疾患を持たれている方は冠動脈 CT 画像で計測した、EAT 容量と冠動脈石灰化が有意の相関を示すとする報告や、EAT 容積が冠動脈粥腫の脆弱性に関与するとの研究も報告されています。

一方、現在まで川崎病と EAT との関係は検討されていません。長期経過観察中の川崎病冠動脈障害例では冠動脈内腔狭小化、血栓形成に伴う冠イベント(急性冠症候群)の予防が重要とされています。最近の検討では川崎病発症時の冠動脈径(z-score)高値が冠イベントに関与する因子と報告されていますが、残念ながらその発症を予測する検査法は確立されていません。そこで長期経過観察中の川崎病冠動脈障害例の冠動脈CT画像からEAT、冠動脈石灰化、冠動脈狭窄等の指標と心エコーで計測した現在までの冠動脈最大瘤径(max z-score)との関係を検討し、z-scoreに伴う EAT の特徴から、さらなる川崎病冠動脈障害例の冠動脈リスク層別化が可能かどうか検討を行ないます。今後この非侵襲的冠動脈 CT 検査による新たな冠動脈リスク層別化の確立により、冠イベント防止に対する新たな治療介入が可能となると予想されます。

### <利用する試料・情報の項目>

- ① 冠動脈CT:心外膜下脂肪組織(EAT)容量(ml)、EAT容積指数(EAT/BSA)、冠動脈石灰化スコア(Agaston calcium score)、前室間溝CT値(左前下行枝近位部)、前房室間溝CT値(右冠動脈近位部)、後房室間溝CT値(回旋枝中位部)、冠動脈狭窄度(% stenosis)
- ② 心エコー:現在までの左右冠動脈最大瘤径 (mZS: max z-score)\*
- ③ 身体計測:身長、体重、BMI、BSA、血圧
- ④ 採血項目:血清脂質(総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪、空腹時血糖、HbA1c、アディポネクチン、レプチン)

### <対象となる患者さん>

西暦 2018 年 9 月 30 日～西暦 2019 年 12 月 31 日の期間に当院川崎病長期フォローアップ外来を受診し、冠動脈 CT 検査を受けられた方

### <研究の方法>

CTの画像、心エコーの画像解析と血液データによる関連を検討します。EAT、冠動脈石灰化の計測は解析用 Ziostation (ZIO M900, Amin Co,Ltd)に取り込み自動計測します。過去に検査を受けられた方は過去データとの比較を行います。

<外部への試料・情報の提供等>

該当なし。

該当なし。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

小児科 氏名:能登 信孝

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2442 (

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)